

I 実践

1 研究主題

他人への思いやりと感謝の心を育てるとともに、幅広い人間関係を築ける児童の育成

(1) 主題設定の理由

児童は、多くの人たちと関わり合いながら学校生活を送っている。そして、互いに助け合い、認め合い、支え合う温かい人間関係が育ってきている。そこで、日常生活や体験活動を通して、差別や偏見を持たない、人を思いやる優しい気持ちが自然に出てくる児童を育てていきたいと考えて、本主題を設定した。

(2) 研究の内容

ア 豊かな体験活動の展開

イ 人権に関する啓発活動の充実

2 実践内容

(1) 豊かな体験活動の展開

ア 久慈川菜の花エコネットワーク推進事業への参加

今年度も地域を愛する心や態度を育てるために、地域と日立市の共催事業「久慈川菜の花エコネットワーク推進事業」に全校児童で参加し取り組んできた。

6月の菜の花刈り取り作業、8月のとうみ体験、9月の菜の花の種まきに児童たちは熱心に取り組む、地域を愛する心の育成が図られた。

また、高学年が低学年を手伝う姿が見られた。互いのよさを認め合いながら活動することができた。

イ 地域との交流（運動会・高齢者との会食交流会・地域人材を生かした体験学習・三世代交流会）

本校では、児童が地域の方々とふれ合う行事を多く設定している。運動会(全学年)、地域の高齢者との交流会(2・3年)や地域の人材を生かした体験学習(全学年)、三世代交流会(全学年)では、地域との連携を深めながら取り組んだ。

また、1月27日には地域の方々に呼びかけて、地域合同の避難訓練を行う予定である。これらの活動を通して、他人を思いやる心の育成や、幅広い人間関係の構築につなげていく。

さらに、地域の人材を生かした陶芸体験学習は、実施して4年目で、地域の陶芸家を講師に招き、児童の発達段階にあった陶芸作品作り取り組んでいる。今年度は2月3日に実施予定である。



菜の花刈り取り作業の様子(6)



地域と合同の運動会(5月)



地域の高齢者との会食交流会(6月)



三世代交流会(10月)



陶芸教室(昨年2月)

避難訓練を
呼びかける
ちらし

東小沢小学校 防災教育発表会
(常磐自動車道日立南太田ICでの発表)
地域のみなさん、こんにちは。いつもわたしたち東小沢小学校の活動を見守って下さりおかげさまでいそいそと活動しています。このたびは、下記の内容(避難訓練、防災教育発表会)を行ってまいります。地域の皆さんをぜひお招きいただき、お楽しみください。
1. 日時 平成27年 1月27日(火)
13時15分～15時00分(雨天順延)
[雨下時:1月28日(水)同時刻]
発表時刻予定:13時55分～14時20分
2. 場所 東日本高速道路(NEXCO)中野
常磐自動車道 日立南太田IC 料金所
脇駐車場
(常磐自動車道として利用しているスペース)
[屋外]

3. 発表内容
1年:地震おこした5
2,3年:備えておきたい防災グッズ
4,5年:ケガの防止と応急処置
6年:おいしい非常食の食べ方
※発表内容は、予定です。
変更があるかもしれません。
ご了承ください。


ウ 異学年との交流活動（たてわり班の清掃活動等）

本校では、週に2回(水曜日・金曜日)の清掃活動をたてわり班で行っている。高学年の児童が低学年児童へ掃除の仕方を教えるなど、よく面倒をみている。また、今年度は6年生が企画、運営して縦割り班対抗ゲームを実施し、異学年交流を積極的に行っている。異学年との交流を通して、互いのよさを認めたり、異なる立場の意見も尊重したりする態度が養われてきた。

エ あいさつ運動や募金活動

計画委員会の児童が中心となって「朝のあいさつ運動」を毎週月曜日・水曜日・金曜日に昇降口で実施した。また、福祉委員会による緑の羽根・赤い羽根・書き損じはがきなどの募金活動も進んで行った。このような活動を通して、他者を思いやる心を育むことができた。

(2) 人権に関する啓発活動の充実

ア 人権作品展（メッセージ・書道・ポスターなど）への取り組みについて(7～9月)

夏休みの課題として、学年や児童の実態に応じて人権作品に関する応募に積極的に呼びかけた。また、全学年で人権メッセージにも取り組んだ。人権とは何か考えるきっかけとなった。

イ 人権学習の実施

道徳教育の一環として人権教育を重視した道徳の時間を設定し行った。「見た目で人を判断しない」、「いじめは絶対に許さない」という意識化が図られた。

3 成 果

- (1) 地域との多くの交流や異学年交流を通して、好き嫌いにとらわれずに、誰とでも公正・公平にふるまい、仲良く生活する態度を育てることができた。
- (2) 「久慈川菜の花エコネットワーク推進事業」や「あいさつ運動」などにみられるように、児童が自分たちの地域の一員であるという自覚を高めることができた。

II 今後の課題

- (1) 各教科や道徳の時間など学校教育全体を通して、人権に関する学習をよりいっそう充実させ、児童一人一人の人権意識のさらなる高揚を図るための取り組みを計画的・継続的に実践していきたい。
- (2) 児童が地域の一員であるという自覚をさらに高めていく手立てを意図的に展開していきたい。
- (3) 人権意識を高めるための職員研修を計画的・継続的に実施し、人権教育について共通の認識が持てるようにしていきたい。

III 人権コーナーの設置

本校では「人権コーナー」という名称では設置していないが、道徳的内容を含んだ「こころのまどコーナー」を設置している。この中で人権教育の啓発活動も進めている。

【昇降口に設置してある「こころのまどコーナー」】

学校行事での児童の励んだ事などの写真や児童の作文などを掲示している。

【学級に設置してある「こころのまどコーナー」】

道徳の授業などで学習した内容や体験活動の感想などを掲示している。友達の思いや考えの良さを理解できるようになっている。

学期ごとに重点目標を設定し、よりよい人間関係の育成に努めている。

- 1学期：みんななかよく
- 2学期：最後までがんばるぞ
- 3学期：心からありがとう



昇降口に掲示されている「こころのまど」



教室に掲示されている「こころのまど」